

くらつね かぐらばやし ～倉常の神楽囃子～

倉常の神楽囃子は、江戸時代の正徳年間（1711～1716年）に病気がはやったとき、現在の茨城県稲敷市阿波というところにある大杉神社から神様を迎え、疫病退散を願って囃子を演奏し、祭りを行ったのが始まりです。囃子の流派は江戸囃子系の祭囃子で、倉常の南に位置する榎の囃子と同じものです。（毎年7月24日に近い日曜日に倉常神社にて公開）



なまえ

ねんれい

さい

がっこう ようちえん ほいくえん
学校・幼稚園・保育園

ねん
年

くみ
組